



2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月7日

上場会社名 株式会社 マルゼン

上場取引所 東

コード番号 5982 URL <http://www.maruzen-kitchen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 萬實 房男

TEL 03-5603-7755

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	39,846	17.5	3,092	17.4	3,385	17.3	2,305	16.9
2021年2月期第3四半期	33,922	15.7	2,633	26.8	2,885	26.2	1,972	27.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 2,313百万円 (21.2%) 2021年2月期第3四半期 1,908百万円 (19.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	142.38	
2021年2月期第3四半期	121.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	61,035	40,927	67.1	2,527.07
2021年2月期	55,295	39,070	70.7	2,414.32

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 40,927百万円 2021年2月期 39,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		15.00		15.00	30.00
2022年2月期		15.00			
2022年2月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	10.1	3,807	12.3	4,100	10.5	2,790	11.4	172.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	19,780,000 株	2021年2月期	19,780,000 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	3,584,534 株	2021年2月期	3,597,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	16,189,937 株	2021年2月期3Q	16,177,455 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、〔添付資料〕P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年11月30日）における我が国の経済は、昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続き、第4波、第5波と月を追うごとに威力を増して、経済活動、消費活動が減退する極めて厳しい状況が続きました。その後、9月に入ると感染者数は急速に減少し、9月末には緊急事態宣言が全国で解除されました。また、国内でのワクチン接種が進んだことなどにより景況の改善が期待されていますが、新型変異株のリスクや第6波に対する懸念などのため、依然として先行き不透明な状況です。

当社グループの主要顧客の一つである外食産業におきましても、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインパウンドの消失に加え、飲食店等における営業時間の短縮や休業要請、酒類販売禁止要請などにより、飲食市場での売り上げ減少が続きました。ただし、緊急事態宣言の解除に伴い各種の規制は緩和されてきており、一部に回復の兆しも見えています。一方、中食産業におきましては、テイクアウト、デリバリー等では売り上げが増加するなど、業種・業態等により影響はさまざまですが、全体的には大変厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、398億46百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は30億92百万円（同17.4%増）、経常利益は33億85百万円（同17.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては23億5百万円（同16.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①業務用厨房部門

主たる事業の業務用厨房部門では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により外食、ホテル・旅館等において厳しい状況が続きましたが、当社グループの多岐にわたる販売先業種・業態におきまして、好調な食品スーパーや厳しい環境の中でも出店、設備投資意欲の高い外食企業等への営業を推進しました。また、業界随一の豊富で多種多様なオリジナル製品の単品販売が好調に推移しました。新型コロナウイルスへの対策としては、自動手指洗浄消毒器などの衛生関連機器や、テイクアウト、デリバリー対応機器等の提案販売、Webによる調理セミナーの実施など、お客様の安心安全と顧客満足度の向上に注力いたしました。

以上の結果、売上高は380億29百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は32億71百万円（同24.8%増）となりました。

②大型ベーカリー部門

大型ベーカリー部門では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により海外向けの営業がほとんど出来ませんでした。また、国内での大型設備投資案件にも乏しく、その結果、売上高は13億82百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益は17百万円（同92.8%減）となりました。

③ビル賃貸部門

5物件を有する土地と資金の有効活用を目的としたビル賃貸部門の業績は計画通り推移し、売上高は4億48百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は3億19百万円（同22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、流動資産で現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ62億8百万円増加の423億48百万円となりました。固定資産は有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億68百万円減少の186億87百万円となりました。

負債の部は、流動負債で支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ39億63百万円増加の173億36百万円となりました。固定負債は長期設備支払手形が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ80百万円減少の27億72百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等で、前連結会計年度末に比べ18億56百万円増加し409億27百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月9日付公表の「2021年2月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,618,706	28,391,137
受取手形及び売掛金	7,493,512	7,837,643
電子記録債権	647,749	816,061
商品及び製品	3,783,915	3,042,464
仕掛品	511,594	911,313
原材料及び貯蔵品	954,297	1,096,030
その他	141,456	262,345
貸倒引当金	△10,595	△8,322
流動資産合計	36,140,636	42,348,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,862,739	17,881,220
減価償却累計額	△10,911,486	△11,205,820
建物及び構築物 (純額)	6,951,253	6,675,400
土地	7,893,156	7,892,002
建設仮勘定	—	5,805
その他	9,190,490	9,256,371
減価償却累計額	△7,498,881	△7,779,330
その他 (純額)	1,691,608	1,477,040
有形固定資産合計	16,536,018	16,050,248
無形固定資産	30,612	29,194
投資その他の資産	2,588,655	2,607,572
固定資産合計	19,155,285	18,687,014
資産合計	55,295,922	61,035,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,341,637	7,175,340
電子記録債務	—	6,118,117
未払法人税等	437,718	532,955
賞与引当金	615,000	314,000
役員賞与引当金	55,202	42,750
その他	1,923,134	3,153,340
流動負債合計	13,372,692	17,336,503
固定負債		
退職給付に係る負債	1,791,993	1,827,235
その他	1,060,243	944,837
固定負債合計	2,852,237	2,772,073
負債合計	16,224,929	20,108,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,164,950	3,164,950
資本剰余金	2,505,468	2,522,326
利益剰余金	40,102,717	41,922,171
自己株式	△3,299,707	△3,288,319
株主資本合計	42,473,427	44,321,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,118,707	1,132,604
土地再評価差額金	△4,556,460	△4,556,460
退職給付に係る調整累計額	35,318	29,840
その他の包括利益累計額合計	△3,402,434	△3,394,015
純資産合計	39,070,993	40,927,112
負債純資産合計	55,295,922	61,035,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	33,922,555	39,846,370
売上原価	23,913,311	28,879,891
売上総利益	10,009,244	10,966,478
販売費及び一般管理費	7,375,291	7,874,062
営業利益	2,633,953	3,092,416
営業外収益		
受取利息	309	146
受取配当金	68,039	11,696
固定資産賃貸料	17,429	18,238
仕入割引	94,595	97,380
作業くず売却収入	58,820	143,585
その他	16,927	25,648
営業外収益合計	256,121	296,697
営業外費用		
支払利息	1,004	—
売上割引	3,555	3,614
その他	84	273
営業外費用合計	4,644	3,888
経常利益	2,885,429	3,385,224
特別利益		
固定資産売却益	11,743	1,104
特別利益合計	11,743	1,104
特別損失		
固定資産売却損	—	469
固定資産除却損	38	183
特別損失合計	38	652
税金等調整前四半期純利益	2,897,134	3,385,677
法人税、住民税及び事業税	775,708	1,016,043
法人税等調整額	149,211	64,502
法人税等合計	924,919	1,080,546
四半期純利益	1,972,215	2,305,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,972,215	2,305,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,972,215	2,305,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,467	13,896
土地再評価差額金	△175	—
退職給付に係る調整額	△8,834	△5,478
その他の包括利益合計	△63,477	8,418
四半期包括利益	1,908,738	2,313,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,908,738	2,313,549
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の連結財務諸表作成に使用した、新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りについては、今後の新型コロナウイルス感染症の広がり方や収束時期等を含めた仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,857,187	1,672,633	392,734	33,922,555	—	33,922,555
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	31,067	—	31,067	△31,067	—
計	31,857,187	1,703,701	392,734	33,953,623	△31,067	33,922,555
セグメント利益	2,622,617	245,029	260,688	3,128,335	△494,382	2,633,953

(注) 1. セグメント利益の調整額△494,382千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△584,382千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,029,949	1,367,973	448,447	39,846,370	—	39,846,370
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	14,494	—	14,494	△14,494	—
計	38,029,949	1,382,467	448,447	39,860,864	△14,494	39,846,370
セグメント利益	3,271,858	17,548	319,624	3,609,031	△516,615	3,092,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△516,615千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△606,615千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。